

ようこそ、HP博物館へ

● HP博物館オープンへの経緯

旧財団法人愛知国際水泳殿堂・アジアの設立に伴い、国際水泳殿堂・アジア博物館が誕生した。国際水泳殿堂からの展示品に加え、日本人水泳競技メダリストの金、銀、銅メダルの展示を加え、まさに世界水泳、オリンピックの歴史、水泳関係の貴重な資料を展示した。

名古屋のレインボープールと隣接し、各種水泳大会の参加者、観覧者の多くが見学に訪れた。初年度延 6000 人が来場、好評を得たが、バブルの崩壊により財団に対する寄附金が大幅に減少、3年後には撤退を決議した。

長い苦難の時期を過ぎたが、2014年、公益財団法人国際水泳殿堂・アジアが内閣府により認定され、旧財団の運営の反省に立ち、展示場を小型化し、展示場Aをコバンスポーツクラブ・緑に展示場Bを札幌・サンエイ工業内に開場した。

展示場Aはスポーツクラブフロントに位置し会員と一般ビジターも多く訪れた。札幌は文教地区、白石地区に位置し、区役所、区内の小、中学高への情宣の効果もあり、期待されたが、3年ほどで訪問者は激減した。博物館の運営は極めて厳しいものである。



詳細は会報No.2-96「～博物館・美術館に関する一考察～」ご参照

時代の変遷の中で博物館の管理運営は極めて厳しい条件下にある。

当財団は2020年理事会において、展示・収蔵品を一人でも多くの方に観ていただく方法は、現代社会の流れの中で、HPの活用との結論に達しHP博物館開設の準備に入った。

国際水泳殿堂でも現在新築中博物館の運営に疑問を持つ役員も多い。

現在の当財団HPの収蔵品のコーナーを博物館とし、博物館の内容を基本財産 その他の財産＝内閣府登録、収蔵品に加え、現在、財団が保育・管理する収蔵品を紹介していく。2022年7月1日、一次基本財産、その他の財産のオープン。他の収蔵品も随時、加え、HP博物館を充実、発展させていきます。ぜひ、ご覧ください。

内閣府登録財産（基本・その他）231,993,000 円